

進路・職業について考える

- 自分の生き方、生き甲斐、夢、目標の実現のために -

株式会社 開倫塾

代表取締役 社長 林 明夫

(経済同友会、会員)

1. はじめに

- (1) 人生は長い。十分に「健康管理」をすれば、105 歳くらいまで生きられる可能性が高まった。あせることはないから、自分の生き方、生き甲斐、夢、目標とは何かをゆっくり考えてみよう。考えながら、自分にはどのような仕事や社会的活動が向いているかについても、ゆっくりとあせることなく考えてみよう。
- (2) 本日の授業の目的は、皆さんが進路や職業について考えるきっかけ、ヒントを提供すること。授業終了後に、自分の生き方、生き甲斐、夢、目標の実現のためにはこれからどうしたらよいか、進路や職業について、今までとはちょっと異なった角度から考えるきっかけになればと思い、お話をさせて頂く。
- (3) 「よく生きる」ことを目指そう。そのために「一生勉強」しよう。「一生勉強、一生青春(相田みつを先生)」

2. 仕事とは何か。何のために働くのか。

(1) 仕事とは何か

仕事とは、お客様のお役に立つこと。

お客様の問題解決になること。

それが社会に役立つこととなる。

(2) 何のために働くのか

生活できるだけの収入を得るため。

仕事を通して自己実現するため。

(3) 問題とは何か

お客様の問題解決になり、その仕事をしたことによって生活できるだけの収入を得、その仕事を通して自己実現するためには、それだけのスキル(力)が必要だということ。

3. 仕事をする上で必要なスキル(力)とは何か。

- (1) 学校で勉強し身に付けた知識や技能、社会に出てから身に付けた知識や技能、情報をうまく組み合わせ、用いることのできる能力。

小学校、中学校、高校、大学、大学院、専門学校、専修学校などいろいろな学校や教育機関で勉強した知識や技能を、生活や仕事の上で活用できること。

* 中学校で習うことはすべて、世の中に出て役に立つ。仕事をする上で役に立つ。生活する上で役に立つ。役に立たないことは一つもない。しっかりと勉強しよう。

コンピュータと英語は、身に付けていないと仕事にならない場合が多い。コンピュータと英語を使いこなせて、自分の専門領域(得意なもの)があると、お客様の問題解決に役立つことが多い。たくさんの選択肢(せんたくし)の中から仕事を選べることが多い。(日本だけではなく、外国でも仕事ができる可能性が高まる)。

数学や理科(科学)に強いと、理科系に進める可能性が高い。

(2) 異質な集団で交流する能力

他人とよい関係をつくる。

協力する。チームで働く。

争いを処理する。解決する。

} すべて「能力」

(ア) この能力を育てるために、学校行事(運動会、文化祭、遠足、修学旅行、自然体験学習、始業式、終業式、卒業式、全校集会)、学級活動、当番、そうじ、部活動などが非常に役に立つ。

1つ1つの活動を、しっかり丁寧^{ていねい}にやってみよう。

(イ) 世の中には、自分と異なった環境で育ち、異なった価値観(何を大切なものとして考えるかについての見方)、異なった言語・文化を持った人がいるということを認めること。「寛容」とは自分と異なった考えや信念を持つ人、異なった生き方をしている人をそのまま認めること。

(ウ) 「チームプレイ」とは、自分のポジションは誰にも頼らずに役割を果たすこと。チームのメンバーのプレイを信頼すること。

(3) 自律的に活動する能力 - 高い志(こころざし)を持ち、自分自身を律しながら生き抜く力 - 社会のルールを知ること。ルールの中でプレイすることを知ること。

(ア) 相手の立場に立って、ものごとを考えること。自分がされたいいやなことは、相手にしないこと。「道徳」とは、相手の立場に立って考えること。

(イ) フェア・プレイ。きたないプレイはしないこと。

(ウ) 法律に反することはしないこと。

* 犯罪行為はしないこと。刑法に罰則をもって規定されている行為はしないこと。「人を殺すこと」「物を盗むこと」「人を傷つけること」「人をおどして物を取る」「人をだますこと」。「イジメの大半は犯罪行為」「他人の自転車に乗ることは犯罪」「万引きは犯罪」。

世の中のことをよく知ること。

(ア) 質の高い読書をする。

* 「教科書」に出てくる作者の本や図書館の本は、「質」の高い本。じっくり腰を落ち着けて本を読む。何回も読む(6回)。気に入った文章に出会ったら「書き抜き読書ノート」に書き写し、何十回、何百回も読む。

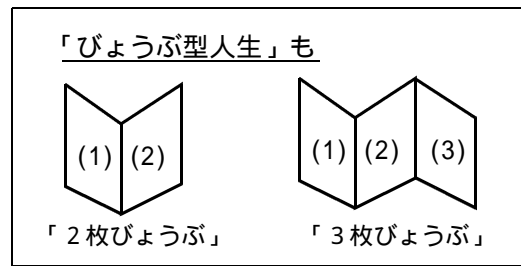
(イ) 新聞を読んで考える習慣を身に付ける。

* 小学生は20分、中学生は40分、高校生は60分、新聞を読んで考えよう。興味のある記事は切り取り「スクラップブック」に。何回も何回も記事を読んで、世の中のことを考えよう。

(ウ) 「質の高い読書」「新聞を読んで考える習慣」が身に付いている人は、学力が高い。

(エ) 実用英語検定2級に合格した人は、日本語の新聞を読んでよくわかっている内容の記事だけでよいから、「英字新聞」を毎日1時間辞書を引かずに読む訓練をしよう。

- 高い志(こころざし)を持って生きる。
- (ア)仕事について考えよう。
 - (イ)社会活動について考えよう。
 - (ウ)自分の人生の目標について考えよう。



勉強の仕方を身に付ける。...勉強の手順とは...

- (ア)「理解」...「うんなるほど」と「よくわかること」。
- (イ)「定着」...理解したことが身に付くこと。「音読練習」「書き取り練習」「計算(問題)練習」
- (ウ)「応用」...テストでよい点が取れること。社会で活用できること。

*メモを取り続け、メモを「理解」し、「定着」させ、「応用」する。

健康第一。規則正しい生活。

- (ア)早寝、早起き、朝ごはん。
 - (a)夜更かし、睡眠不足では、健康を害することも。事故の原因にも。
 - (b)出掛ける間に起きたのでは、ゆっくりトイレに行く時間も...。便秘では...
 - (c)朝ごはん抜きでは、頭が働かないことも...。(炭水化物を。ごはん、パン、コーンフレークを...)
- (イ)遅刻・欠席・早退・忘れ物・おしゃべり・携帯電話があつては...。「出席第一」「出勤第一」。
- (ウ)約束した時間の少し前に、ゆとりを持って元気に、約束した場所に到着することは大切な「能力」。

「躰(しつけ)」を身に付けていること。...躰とは...

- (ア)美しい立居振舞い
 - (a)服装第一...だらしない服装は...
 - (b)見苦しいしぐさ...食事の仕方も大事
- (イ)敬語表現を含む言葉遣い
 - (a)です、ます調で話せること
 - (b)英語にも敬語表現がある

4. おわりに

- (1)最も大切なことは、「Learning To Learn(ラーニング・トゥ・ラーン)」「学び方を学ぶこと」。
...勉強の仕方に興味を持とう。
 - (ア)効果の上がる勉強方法とはどのようなものかに興味を持つこと。
 - (イ)自分なりの勉強方法を身に付けること。
 - (ウ)勉強し続けること。勉強時間を増やす努力をすること。
 - (エ)どこで勉強するか、その場所にたどり着くことも大事。

$$\boxed{\text{学習効果}} = \boxed{\text{学習時間}} \times \boxed{\text{学習方法}}$$

- (オ)ただし、勉強はどこでもできる。一人でもできる。

「自己学習能力」を身に付けること。

- (2)「よく生きる」ために
自分自身を大切にしよう。

自分自身の「よさ」を伸ばそう。

(ア)自分の「よさ」がよくわからなければ...

- (a)家族のよさを1つでもさがそう
- (b)友だちのよさを1つでもさがそう
- (c)学校のよさを1つでもさがそう
- (d)世田谷区のよさを1つでもさがそう
- (e)東京都のよさを1つでもさがそう
- (f)日本のよさを1つでもさがそう
- (g)アジアのよさを1つでもさがそう
- (h)地球のよさを1つでもさがそう

(イ)自分以外のよさを1つずつさがし、それを「ことば」に出して言ってみよう。みんなで、そのことについて話し合ってみよう。そうすると、いろいろな人が、1つのことについていろいろな「よさ」に気付いていることがわかる。

* ゆっくりでよいから、「自分自身のよさ」をさがそう。

(ウ)「よさ」がわかってきたら、それをどのように伸ばしたらよいか自分の頭で考えてみよう。
(エ)どのような生き方をしたら「自分のよさ」が生かせるのかを考えてみよう。ゆっくりでよいから考えてみよう。

自分の改善点を、ゆっくりでよいから少しずつ改めよう。

(ア)人間は、急には変わらないもの。

(イ)今月はここだけ直そうと考えるのも一手。

新年の計画を立ててみよう。

(ア)新年になってから、新年の計画を立てるのでもよいけれど...

(イ)12月中に、来年はどんな1年を送ろうかを考えよう。

(3)受験勉強について

小学校6年間、中学校3年間の勉強内容を身に付けるよいチャンスと考えよう。

合格するかしないかは、勉強したかしないかで決まる。1年間あれば、成績は相当上がる。今からでも遅くない。

受験勉強は、自己努力、自己責任。2学期期末試験が終わったら、中1・中2の復習をスタートし、学年末テストに備えよう。中学1～2年の勉強は2年生のうちに終了してしまうことが、今やれること。

御清聴を感謝申し上げます。

- 11月29日記 -